

目標達成計画

事業所名: グループホーム くらしさ手稲

作成日: 平成 31年 3月 18日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	地震等の自然災害想定の実施と臨場での住民の役割を明記しながら、参加協力を継続して要請するなど、更なる協力体制の構築に努める。倒れる危険のある家具家電等の固定をし安全確保に努めます。	地震や自然災害を想定した訓練を、ご家族様や地域の方々にも参加して頂き、協力体制の構築に努める。危険個所を把握し安全確保に努める。	定期的に訓練を行い災害時の体制を整えていく。また、ご家族様や地域の方々にも会議等に参加して頂きながら、協力体制を作ります。	1年間
2					
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。

サービス評価の実施と活用状況(振り返り)

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】	
実施段階	取り組んだ内容 (↓該当するものすべてに○印)
1 サービス評価の事前準備	①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
	②利用者へサービス評価について説明した
	③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
	④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
	⑤その他()
2 自己評価の実施	①自己評価を職員全員が実施した
	②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
	③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
	④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
	⑤その他()
3 外部評価(訪問調査当日)	①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
	②評価項目のねらいをふまえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
	③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
	④その他()
4 評価結果(自己評価、外部評価)の公開	①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
	②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
	③市区町村へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った
	④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
	⑤その他()
5 サービス評価の活用	①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
	②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
	③「目標達成計画」を市町村へ説明、提出した(する)
	④「目標達成計画」に則り、目標をめざして取り組んだ(取り組む)
	⑤その他()